

# 成田市制施行50周年記念式典



式典に華を添えた市民合唱団による市民歌の斉唱

# 市制施行50周年を祝い記念式典を開催

## 成田屋市川團十郎さんと 室伏広治選手に市民栄誉賞

秋も深まった11月13日、市制施行50周年を祝う記念式典が成田国際文化会館で開催されました。式典では市民栄誉賞の2氏のほか特別功労彰に井上裕氏、橋本昭稔氏、水野清氏の3氏、市政の発展に尽くされた個人308人と48の団体が功労彰として表彰されました。また、海外や県内外からの来賓祝辞記念作文の朗読などが行われました。本号ではこの式典の模様を紹介します。



議会を代表しあいさつする  
加藤武夫市議会議長



式辞を述べる小林攻市長



来賓と市民栄誉賞、特別功労彰を受彰された皆さん



記念作文を朗読する青菜麻希さん(上)と工藤友香さん(下)

# 市民一人ひとりが輝くまちへ

成田市長  
小林 攻

成田市は、昭和29年3月31日、成田町、公津村、八生村、中郷村、久住村、豊住村、遠山村の1町6村が合併し、北に利根川、西に印旛沼を配する北総の恵まれた風土と、法灯寺千有余年を誇る成田山新勝寺、善民佐倉宗吾を祭る宗吾霊堂の二大霊場を擁する人口約45,000人の県下11番目の市として誕生いたしました。

戦後復興を果たし、経済が成長経路に向かい始めた昭和30年代には田園観光都市成田の建設を目指して、「住みよい成田をつくらう」を合言葉に新生活運動が展開され、医療・福祉の充実が図られるとともに、市民生活基盤の整備事業などが積極的に行われました。

そして昭和40年代に入り、本市にとって一大転機となる新空港の建設が三里塚の地に正式決定され、本市は田園観光都市から国際空港都市へと歩みを始めたわけでございます。

その後、幾多の紆余曲折を経て昭和53年5月に新東京国際空港が開港し、以来、本市は空港との共存共栄を目指す中、内外に誇れるまちづく

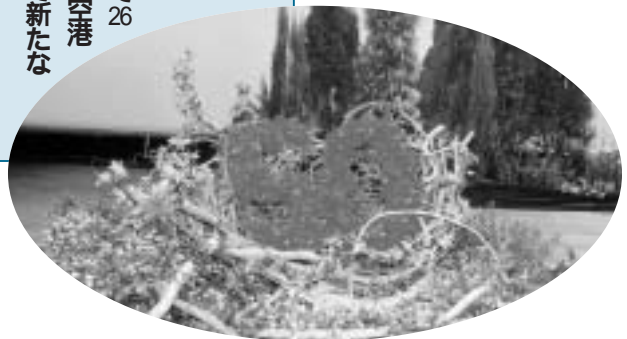
くりを進めてまいりました。そして26年を経過した本年4月、新東京国際空港は民間化され、成田国際空港として新たな空港の歴史が始まりました。

いま静かに過ぎ去りし50年の歳月に思いを致すとき、市勢発展のため英知を傾け、苦難に満ちた激動の時代を乗り越えてきた先人の労に対し、限らない敬意と感謝の念を禁じ得ないものであります。

わたしは今、記念すべき市制施行50周年の喜びを99,000成田市民の皆様とともに分かち合い、また、ともに新たなステージに第一歩を印すことのできる喜びをかみしめ、市民一人ひとりが生き生きと輝く新生成田を創造することで、世界に開ける国際空港都市成田の更なる飛躍を図ってまいりたいと考えております。

どうか今後とも市民ならびに関係各位の一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げる次第でございます。

(式典の式辞より)



市民栄誉賞



表彰された個人308人と48団体の皆さん



功労彰受彰者を代表して表彰を受ける加瀬間俊夫さん